

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	2:郷土を担い学びあう人を育むまち
施策の大綱【政策】	2:誰もが学べる生涯学習のまちづくり
分野	13:生涯学習
具体的な施策【施策】	27:生涯学習施設と連携した生涯学習推進体制の整備
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野外体験活動などの青少年活動を通して、豊かな感性と健全な心身の育成を図り、青少年の「生きる力」を育む取組みを進めます。</li> <li>・ 学習ニーズの把握を行い、市民のニーズに対応した生涯学習の場を構築します。</li> <li>・ 社会教育団体が主体となって、課題の解決や事業実施を行えるよう、運営を支援します。</li> <li>・ 図書館は、読書活動につながるような啓発を積極的に実施し、利用機会の充実を継続するとともに、地域の情報拠点としての役割を果たせるよう、市民の読書活動の推進を図ります。</li> <li>・ 博物館では、市民が気軽に情報を入手できる環境を整えるとともに、館内掲示物の多言語表示の検討や、学校教育との連携を強化し、さらなる施設の利活用を図ります。</li> </ul>

1	担当課かい名	経済文化交流部_商工・港湾振興課
	現状（進捗状況）	参加者から好評であった講座を充実させるなどして市民のニーズに対応した生涯学習の場を確保した。新型コロナウイルス感染症に伴う熊本県独自の緊急事態宣言発令等があったものの、施設ごまめな消毒や対策マニュアルの作成等により感染症予防対策を行いつつ、利用の要望が高い施設の運用や講座の継続実施を行った。
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	新型コロナウイルス感染症に伴う施設の閉鎖や利用制限により成果指標となる利用者数が大幅に落ち込んだ。短期的には新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら市民のニーズに対応した講座の開催や施設の運用を行う必要がある。中長期的には、落ち込んだ利用者数の回復や、2施設において重複する講座の整理など、役割の明確化が課題となる。
	第2期計画の方向性	引き続き利用者のニーズを把握しながら生涯学習の機会を提供する必要がある。一方で、類似施設の役割分担や費用対効果について検討を進める必要がある。
備考・コメント		

2	担当課かい名	教育部_生涯学習課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年の「生きる力」を育む取組みとして、毎年「アウトドアスクール」、「夏休み子ども陶芸教室」、「宿泊体験事業」、「親子体験活動事業」を計画的に実施している。令和2年度は、新型コロナウイルス等により実績なし。</li> <li>・ アンケート調査等で市民の学習ニーズを把握しながら、公民館講座やおでかけ公民館講座を計画的に開催している。新しい生活様式に応じた公民館講座WEB版の配信、かわら版の発行を令和2年度から実施している。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<p>コロナ禍での集団活動や宿泊を伴う事業は、受入れ施設の人数制限や活動の制限などにより開催が困難であるため、代替事業やプログラムの内容等を見直し検討していく必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により市立図書館の休館や利用制限等により、来館者数、貸出冊数が大幅に減少した反面、電子書籍の貸出については前年の約3倍の利用となった。今後は新しい生活様式の定着にも対応した電子図書の蔵書の拡大を図る。</p>
	第2期計画の方向性	<p>青少年の「生きる力」を育む取組みとして青少年体験事業を実施する。また、市民がより豊かな生活を送れるよう、ニーズに対応した生涯学習の場を提供していく。</p> <p>市民の生涯学習及び文化活動に寄与できる図書館として、図書資料を充実し、質の高い図書館サービスを行うことはもとより、各種行事、講座、図書展示等を通じて読書活動の普及を図り、関係団体等の協力を得ながら、すべての年齢層における読書活動の推進を図る。</p>
備考・コメント		

3	担当課かい名	教育部_博物館
	現状（進捗状況）	(博物館)常設展示や博物館ホームページ上に公開している「収蔵品検索システム」の充実、「熱血！妙見塾」や学芸員講座など連続講座の実施、出前授業や見学時の事前打合わせなど学校教育との連携強化を行った。また、松井文庫所蔵古文書や干拓関係資料などの資料調査を着実に進め、八代の歴史解明に寄与した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページやSNS等を活用して情報発信を行っているが、さらなる内容の充実と周知が必要である。</li> <li>・ 感染症の影響により、休館や講座の中止、入館者数の制限をせざるを得なかったため、今後、オンライン等を活用した情報発信に取り組む必要がある。一方、情報弱者への配慮も必要である。</li> </ul>
	第2期計画の方向性	感染症の影響により、展示品の借用ができないなど展覧会内容の変更や臨時休館を行ったことで、生涯学習への意欲低下につながりかねない状況が続いている。現在も感染症終息の目処が立っていないことから、コロナ禍での新しい生活様式に対応した社会教育のあり方を検討する必要がある。
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	2:郷土を担い学びあう人を育むまち
施策の大綱【政策】	2:誰もが学べる生涯学習のまちづくり
分野	13:生涯学習
具体的な施策【施策】	28:社会教育施設の整備・充実
施策の内容	・「八代市公共施設等総合管理計画」を踏まえ計画的な施設の維持管理に努め、施設の長寿命化を図ります。

1	担当課かい名	教育部_生涯学習課
	現状（進捗状況）	西部社会教育センターについては、文化振興課と協議を行い施設管理を移管した。また、市立図書館本館については、雨漏りによる屋根改修工事を実施した。市公民館については、非常用蓄電池取替工事等の電気設備修繕工事を行った。その他の社会教育施設については機能向上ではなく最低限の維持方法により対応した。
	施策の進捗度	C（進捗について課題がある）
	課題	本市では、公民館1館、図書館3館、社会教育センター7館、青少年教育施設（さかもと青少年センター）1館、その他に天文台や宿泊施設、公園施設2施設の計15の社会教育施設を有している。ほとんどの施設について、老朽化が進んでおり大規模な改修等が必要となっている。また、法による設備等の改修も行う必要があり多額の改修費用は発生することから優先順位をつけ計画的に実施していく必要がある。
	第2期計画の方向性	市民の持つ学習意欲や地域が抱える課題解決の意識など高い市民要求に対応する必要があるが、厳しい財政状況の中、これらの施設を従来の維持管理・更新等の手法で対応し、財源を確保していくことは困難な状況である。から、施設の老朽化の状況や機能の集約を検討したうえで、改修等の優先順位付けや予算の平準化を図りトータルコストの削減を図ることで、良好な状態の維持や安全性を確保していく。
備考・コメント		

2	担当課かい名	教育部_博物館
	現状（進捗状況）	H30年度：外壁他改修工事（鉄骨構造部材の塗装及び防水等）※H30年12月中旬～31年3月末まで全面休館 R1年度：空調用吸収冷温水器制御盤（熱源）の取替工事 及び 施設・設備の課題の洗い出し R2年度：改修の事前調査として施設・設備の劣化度調査を業務委託 R3年度：改修工事の規模や内容について関係部署と協議 及び 次年度以降の設計業務委託に向けた準備
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	計画的な施設整備を推進しており、概ね順調に進捗しているものの、施設の劣化度等調査の結果、大規模な改修は避けられない状態である。特に空調設備の不具合はいつ起きてもおかしくない状態であり、収蔵品の保存や展示に大きく影響を及ぼしかねないため早急な対応が必要である。今後の大規模改修計画を策定する上で、展覧会等の展示事業計画や収蔵品の保管・移動等に影響がでることから、工事期間やスケジュール調整の精査が必要となる。
	第2期計画の方向性	八代市公共施設等総合管理計画では「維持保全」と評価。第1期（2020～2029）に「大規模改修」となっている。これにもとづき、多くの市民が利用する社会教育施設を安全で快適に維持できるよう、大規模な改修を計画的に行っていく。また、すでに満杯状態となっている収蔵庫についても今後検討していく。
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		